

# 目的の階層化

PRO  
SU  
CC  
ESS  
S

## アセスメント・目的の階層化・ロジックモデルの関係性

実施計画	中期計画	長期計画	見込み	留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施計画を策定し、10年間の長期計画を策定する。</li> <li>・中期計画を策定し、5年間の中期計画を策定する。</li> <li>・長期計画を策定し、10年間の長期計画を策定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中期計画を策定し、5年間の中期計画を策定する。</li> <li>・長期計画を策定し、10年間の長期計画を策定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期計画を策定し、10年間の長期計画を策定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施計画を策定し、10年間の長期計画を策定する。</li> <li>・中期計画を策定し、5年間の中期計画を策定する。</li> <li>・長期計画を策定し、10年間の長期計画を策定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施計画を策定し、10年間の長期計画を策定する。</li> <li>・中期計画を策定し、5年間の中期計画を策定する。</li> <li>・長期計画を策定し、10年間の長期計画を策定する。</li> </ul>

情報を収集・整理して可視化する



実施計画	中期計画	長期計画	見込み	留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせの活動をきっかけに、地域内で様々なシニアの活動が生まれ、社会参加の機会が増える</li> <li>・読み聞かせ講座修了のシニアが施設内の子育てサロン等で読み聞かせをし、世代間の交流が生まれる</li> <li>・認知症予防を兼ねた読本の読み聞かせ講座を実施し、読本の読み聞かせボランティアを養成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせの活動をきっかけに、地域内で様々なシニアの活動が生まれ、社会参加の機会が増える</li> <li>・読み聞かせ講座修了のシニアが施設内の子育てサロン等で読み聞かせをし、世代間の交流が生まれる</li> <li>・認知症予防を兼ねた読本の読み聞かせ講座を実施し、読本の読み聞かせボランティアを養成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせの活動をきっかけに、地域内で様々なシニアの活動が生まれ、社会参加の機会が増える</li> <li>・読み聞かせ講座修了のシニアが施設内の子育てサロン等で読み聞かせをし、世代間の交流が生まれる</li> <li>・認知症予防を兼ねた読本の読み聞かせ講座を実施し、読本の読み聞かせボランティアを養成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせの活動をきっかけに、地域内で様々なシニアの活動が生まれ、社会参加の機会が増える</li> <li>・読み聞かせ講座修了のシニアが施設内の子育てサロン等で読み聞かせをし、世代間の交流が生まれる</li> <li>・認知症予防を兼ねた読本の読み聞かせ講座を実施し、読本の読み聞かせボランティアを養成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせの活動をきっかけに、地域内で様々なシニアの活動が生まれ、社会参加の機会が増える</li> <li>・読み聞かせ講座修了のシニアが施設内の子育てサロン等で読み聞かせをし、世代間の交流が生まれる</li> <li>・認知症予防を兼ねた読本の読み聞かせ講座を実施し、読本の読み聞かせボランティアを養成する</li> </ul>

目的を階層化して共有する

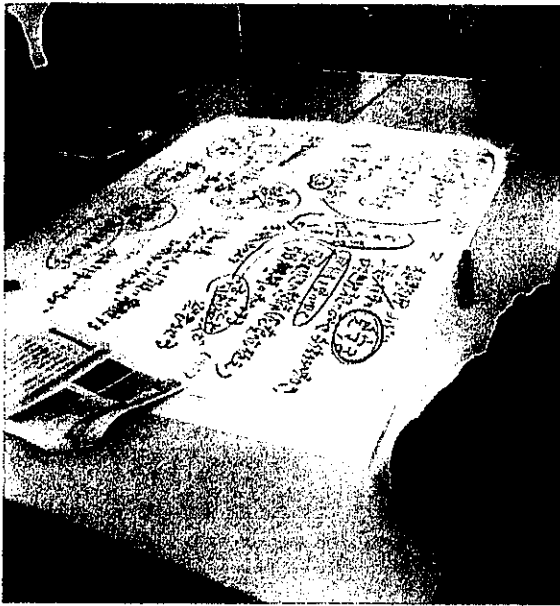
### ロジックモデル

インプット (資源)	活動	アウトプット	成果物	中・長期的	最終
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材</li> <li>・資金</li> <li>・施設</li> <li>・情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせ講座の実施</li> <li>・ボランティアの養成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読本の読み聞かせ</li> <li>・ボランティアの養成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読本の読み聞かせ</li> <li>・ボランティアの養成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化</li> <li>・世代間の交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会参加の増加</li> <li>・認知症予防</li> </ul>

道すじを立てて整理する

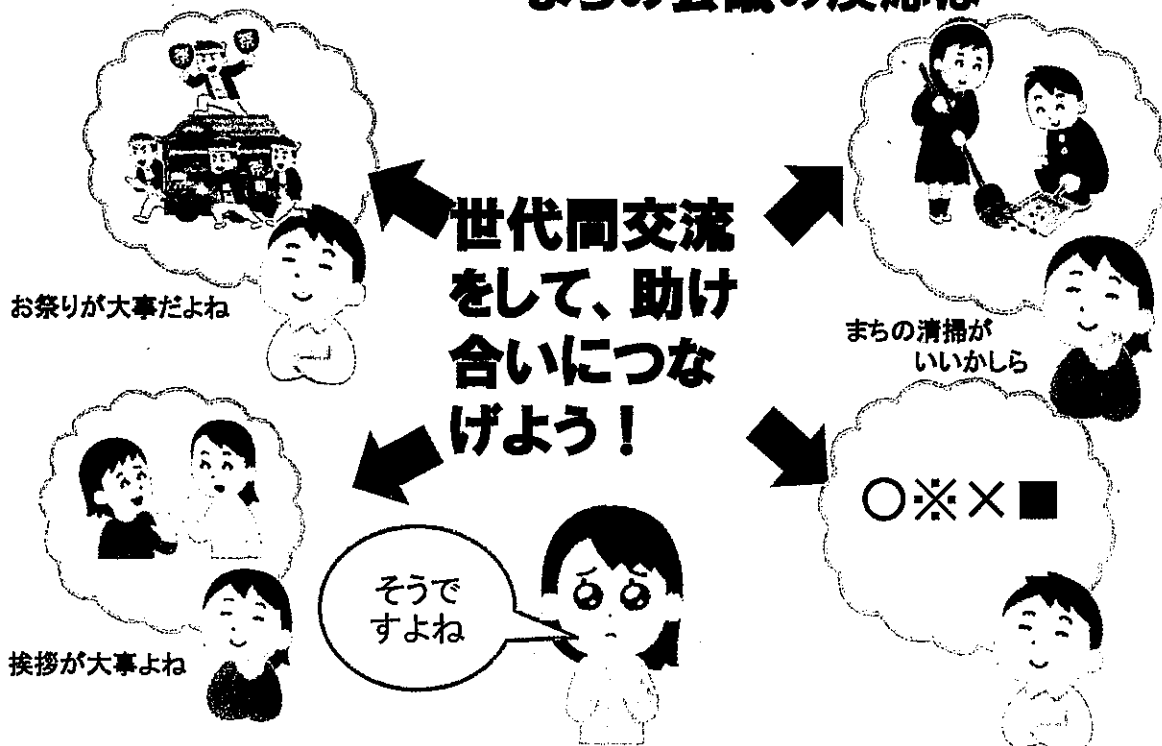


# 目的の階層化の目的



- アセスメントで抽出した課題解決のために取組むことを考える。
- その取組の目的を明確にする。
- 住民とのコミュニケーションを図る際に、目的を階層化して考えることによって、共通認識を得る。

## 「世代間交流や多世代で」と聞いた時、 まちの会議の反応は・・・



解釈がばらばらで何を目標しているのかわかりにくい、でも否定しにくい

# いつしか、地域の活動に対して住民が抱く気持ちは…

なんのためにこの活動をやっているのか不安。誰かのためになってるの？

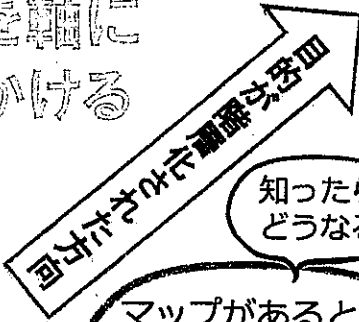
この活動って、こんなことやるはずじゃなかったんじゃないの（心の声）？



当初の目的ではないことも始めたりすることが、不安や脱会に発展

## まちの会議の議論の方向性

目的を軸に  
問いかける



来たら、体操とかして体力とかつくんじゃない？

来たらどうなる？

閉じこもりがちな人の健康づくりが目的

そういうところに来ない住民が来るようになるんじゃない？

知ったらどうなる？

マップがあるとみんな介護予防の場を知ることができるんじゃない？

マップづくりが目的となった議論

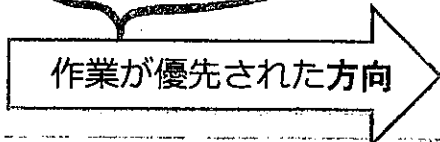
なんのために？

どんな介護予防の場があるかわかるマップがあるといいんじゃない？

どんなマップにしますか？

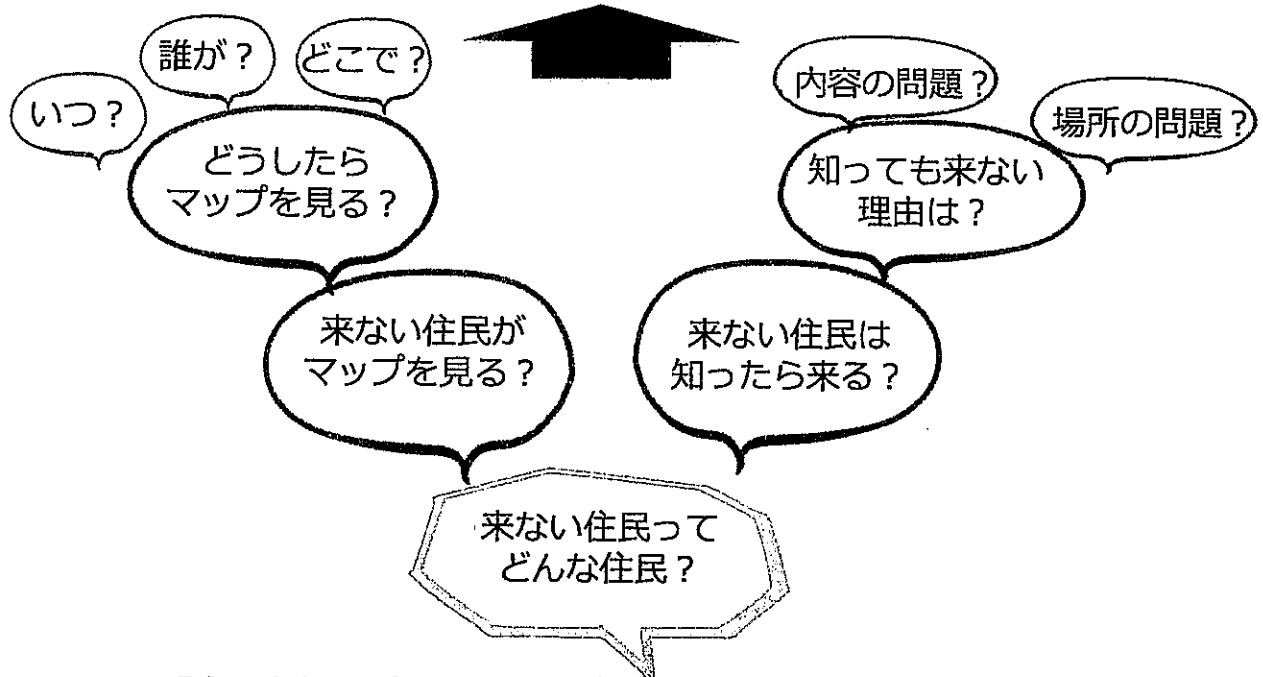
いつ配りますか？  
誰が作りますか？

作業が優先された方向



# まちの会議の議論の方向性

来たら、体操とかして体力とかつくんじゃない？



そういうところに来ない住民が来るようになるんじゃない？

目的が軸になると、具体的な取り組みや論点が見えてくる


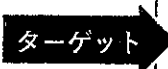

## 未来から今を考える(Back Cast バックキャスト)

<b>未来の姿</b>
<b>将来的な目的</b>
<b>主たる目的</b>
<b>すぐに行える事</b>
<b>既に行われている事</b>

「現状」の延長線上ではなく、こうありたい未来の姿から、今やるべきことを考えることも重要。

↑  
**アセスメント**




# 目的の階層化

  	レベル5	最終的な目標	未来の姿
	レベル4	目的+取り組み (〇〇のために、△をする)	将来的な目的
	レベル3	目的+取り組み (〇〇のために、△をする)	主たる目的
	レベル2	目的+取り組み (〇〇のために、△をする)	すぐに行える事
	レベル1	目的+取り組み (〇〇のために、△をする) すでに地域で行われている活動でレベル3につながる事をレベル1として記述する。	既に行われている事

55

## 1.目的の階層化

# 目的の階層化

  	レベル5	最終的な目標	未来の姿
	レベル4	目的+取り組み (〇〇のために、△をする)	将来的な目的
	レベル3	目的+取り組み (〇〇のために、△をする)	主たる目的
	レベル2	目的+取り組み (〇〇のために、△をする)	すぐに行える事
	レベル1	目的+取り組み (〇〇のために、△をする) すでに地域で行われている活動でレベル3につながる事をレベル1として記述する。	既に行われている事


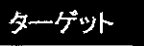

レベル3が達成できるとレベル4

レベル3のために、レベル2

「迎いの場をつくる」は目的にはならない、迎いの場を作って何を目指すのかが示すべきこと


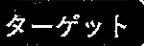

56

## 具体例

  	レベル5	高齢者世代と子育て世代のつながりにより全世代の地域包括ケアが実現する	未来の姿
	レベル4	世代間の支え合いの意識を高めるため、世代間で楽しめるプログラムを定期的を実施する	将来的な目的
	レベル3	孤立、孤食が解消されるため、多世代が自由に集える居場所（カフェ）を立ち上げる	主たる目的
	レベル2	多世代が集える居場所の必要性の啓発のため、空き店舗を使った多世代交流のイベントを実施する	すぐに行える事
	レベル1	居場所の大切さを知っていただくため、住民事例について自治会の会合や、ニュースレターなどで知らせる	すぐに行える事

57

## 具体例

  	レベル5	男性高齢者がいきいきと活躍し、男性を中心とした困りごとの助け合いネットワークが広がる。	未来の姿
	レベル4	地域の男性の社会的孤立化が進まないようにするため、通いの場の男性スタッフによる困りごとの支援をする。	将来的な目的
	レベル3	男性高齢者のフレイル予防のため、男性スタッフが主体的に運営する通いの場をつくる	主たる目的
	レベル2	男性高齢者の通いの場の必要性に対する意識を高めるため、男性の孤立やフレイル予防の必要性を考えるイベントを開催する	すぐに行える事
	レベル1	男性高齢者のフレイル予防に向けた地域の体制づくりのため、中核メンバーが話し合いをする。	既に行われている事

58



## ロジックモデルとは？

- ロジックモデルは、資源として存在するもの、具体的に導入する事業や活動、成果や、短中長期的なアウトカムを連動させて事業の流れを示すものであり、その目的は事業の効果の関連性を図式化するものである (Brownson et al., 2011)。
- 『もし～なら、こうなるだろう』という仮説のもと、資源、活動、直接の結果、成果を繋ぎ合わせたもので、事業が成果を上げるために必要な要素を体系的に図示化したもの(内閣府社会的インパクト評価実践研修 ロジック・モデル作成の手引き, 2017)。

# なぜロジックモデルが必要か？

- ・ アセスメントは、地域の課題や資源を明らかにするが、それらを効果的に活動や事業に活かしていく必要がある。 →管理機能
- ・ 日々の活動が長期的に事業目標（地域の課題解決や、まちの将来ビジョン）の達成につながっているかを確認する必要がある。

→評価機能

何から手をつけていいかわからない  
どこから始めていいのかわからない

ロジックモデル

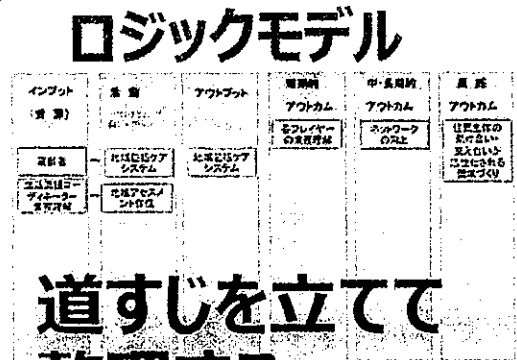
## アセスメント・目的の階層化・ロジックモデルの関係性

課題/ニーズ	活動/事業	目的	成果	効果
高齢者の孤立防止、地域参加の促進、健康増進、生活の質の向上、社会参加の機会創出	・地域交流サロン、健康講座、生活相談、地域清掃、ボランティア活動の推進	・高齢者の孤立防止、地域参加の促進、健康増進、生活の質の向上、社会参加の機会創出	・参加者数が増える、参加者の満足度が上がる、参加者の健康状態が改善される、参加者の生活の質が向上する、参加者の社会参加の機会が増える	・高齢者の孤立防止、地域参加の促進、健康増進、生活の質の向上、社会参加の機会創出

情報を収集・整理して可視化する

表末の姿
<p>読み聞かせの活動をきっかけに、地域内で様々なシニアの活動が生まれ、社会参加の機会が増える</p> <p>読み聞かせ講座終了のシニアが施設内の子育てサロン等で読み聞かせをし、世代間の交流が生まれる</p> <p>認知症予防を兼ねた読本の読み聞かせ講座を実施し、読本の読み聞かせボランティアを養成する</p>

目的を階層化して共有する



道すじを立てて整理する



# 目的の階層化とロジックモデルの関係

## 目的の階層化

- 目的の階層化は解決すべき課題から、取り組むべき活動や事業の目的に特化することにより、目的および取り組むべきことの整理をしやすくする。
- 初期段階で計画を整理する際に効果的。
- 住民との会議で説明しやすい、理解されやすい。

## ロジックモデル

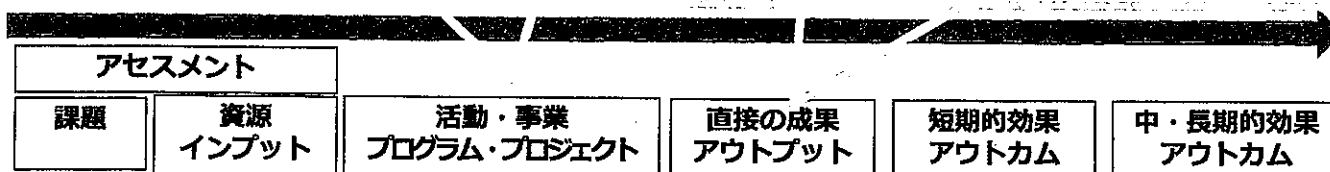
- ロジックモデルは、目的（アウトカム）に合わせて、具体的にすべき事業と評価すべき項目を明確にする。
- ロジックモデルは、直接の結果を特に数字的に示すことにより、事業の進捗評価がしやすくなる。
- 初期から中長期の継続的な活用と、見直しが可能。
- 専門職による継続的な評価や、説明の際に有効。

75

## ロジックモデルの主な構成

アセスメントをもとに、目的に沿って実施する活動や事業

直接の成果（アウトプット）とは、活動や事業の結果生まれる新たな地域人材の創出であったり、常設のサロンのような拠点数、参加者数などである（数字で表現されることが多い）。

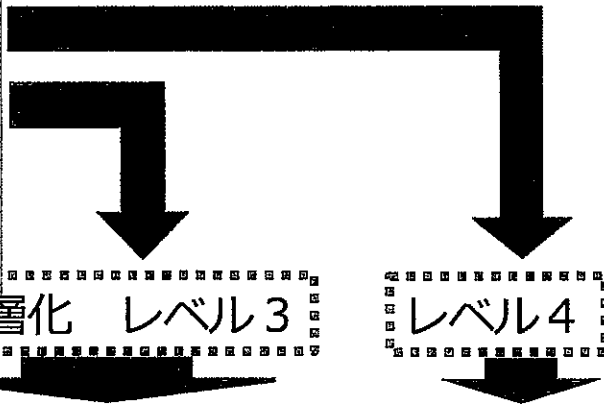


- 短期的効果（アウトカム）とは、実施する活動や事業の直接の成果（アウトプット）によってもたらされる効果（ある状態の変化、健康度、ソーシャルキャピタルなど）
- 中長期的効果（アウトカム）とは、活動や事業が継続されたり、新たな活動や事業が生まれることによって期待される将来の効果

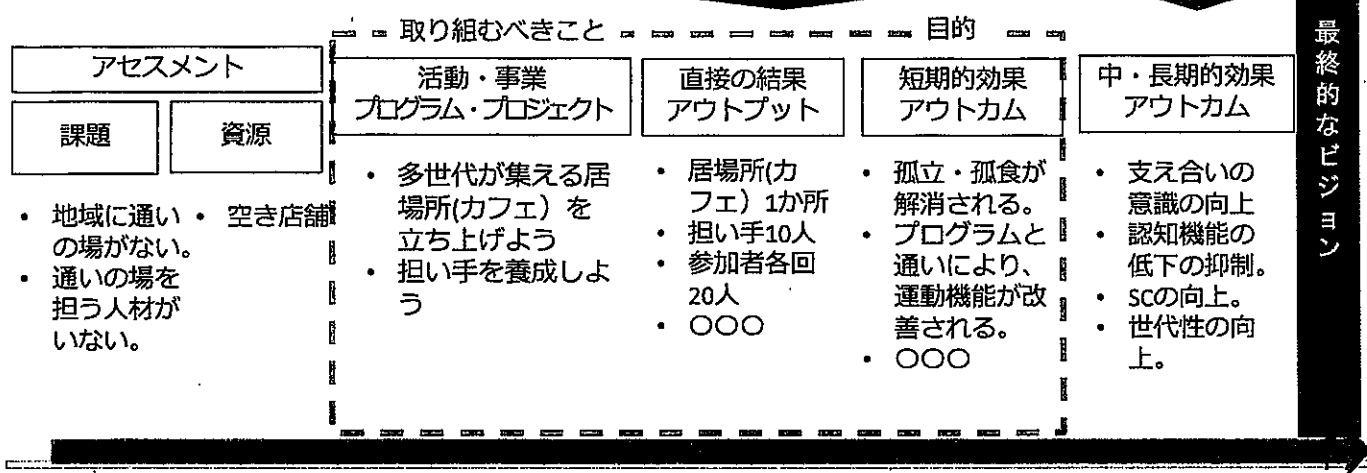
76

# 目的の階層化とロジックモデルの関係

レベル5	高齢者世代と子育て世代のつながりにより全世代の地域包括ケアが実現する
レベル4	世代間の支え合いの意識を高めるため、世代間で楽しめるプログラムを定期的実施する
レベル3	孤立、孤食が解消されるため、多世代が自由に集える居場所(カフェ)を立ち上げる
レベル2	多世代が集える居場所の必要性の啓発のため、空き店舗を使った多世代交流のイベントを実施する
レベル1	居場所の大切さを知っていただくため、優良事例について自治会の会合や、コミュニティセンターなどで知らせる



目的の階層化 レベル3 レベル4

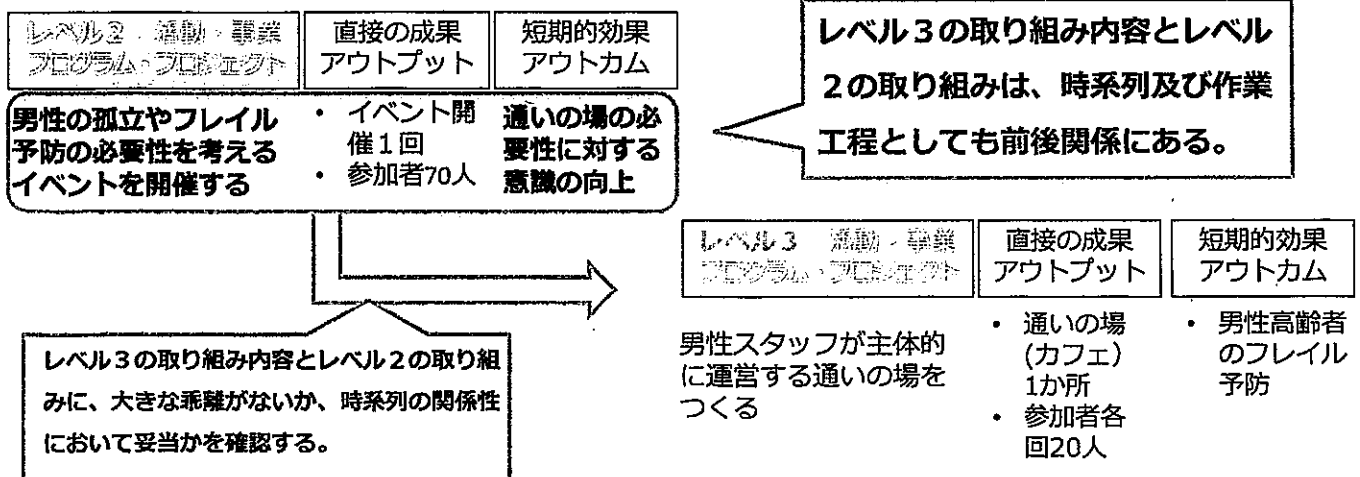


## ロジックモデルの構成：活動・事業

アセスメントをもとに、目的に沿って実施する活動や事業

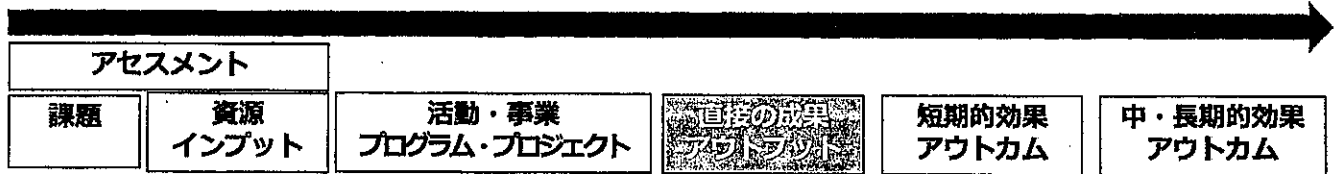


目的の階層化で提示したレベル3の取り組み内容を記載する。



# ロジックモデルの構成:直接の成果(アウトプット)

目的に沿って実施する活動や事業から生み出される成果



目的の階層化で提示したレベル3の取り組み内容から生み出される成果を記載する。

レベル3 活動・事業 プログラム・プロジェクト	直接の成果 アウトプット
----------------------------	-----------------

男性スタッフが主体的に運営する居場所をつくる

- ・ 通いの場(カフェ) 1か所
- ・ 男性スタッフ5人
- ・ 参加者各回20人
- ・ 協力事業者3社

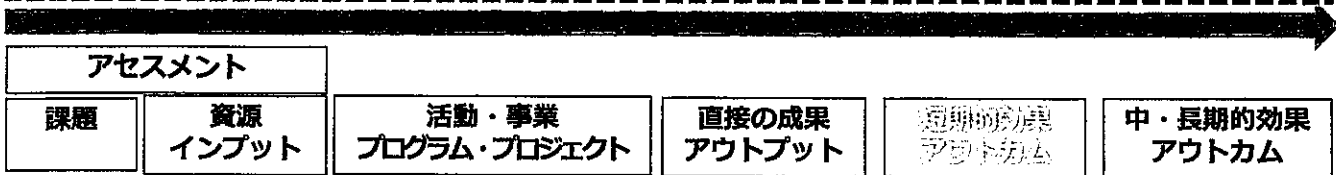
レベル3の取り組みから直接的に生み出されるものは何かを考える。

直接の成果が、短期的効果を生み出すため、直接の成果が明確でなければ、効果も見込めない。

考えられる全てのアウトプットをリストアップしよう。

# ロジックモデルの構成:短期的効果(アウトカム)

- ・ 短期的効果(アウトカム)とは、実施する活動や事業の直接の成果によってもたらされる効果(ある状態の変化、健康度、ソーシャルキャピタルなど)
- ・ 中長期的効果(アウトカム)とは、活動や事業が継続されたり、新たな活動や事業が生まれることによって期待される将来の効果



目的の階層化で提示したレベル3の目的を記載する。

活動・事業 プログラム・プロジェクト	直接の成果 アウトプット	短期的効果 アウトカム
-----------------------	-----------------	----------------

男性スタッフが主体的に運営する居場所をつくる

- ・ 通いの場(カフェ) 1か所
- ・ 男性スタッフ5人
- ・ 参加者各回20人
- ・ 協力事業者3社

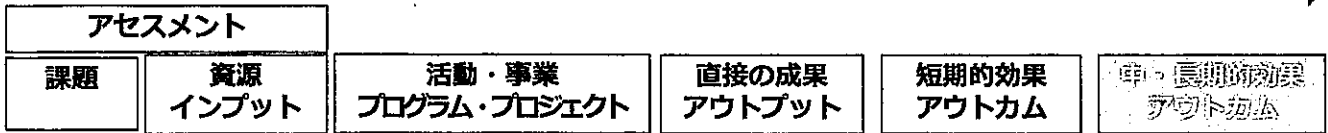
- フレイルの状態の変化
- ・ 運動の頻度
  - ・ 運動の時間
  - ・ 外出の頻度
  - ・ 食事の状況

成果から期待される効果をリストアップしていくが、特に解決すべき課題や弱みの内容と連動させる必要がある。

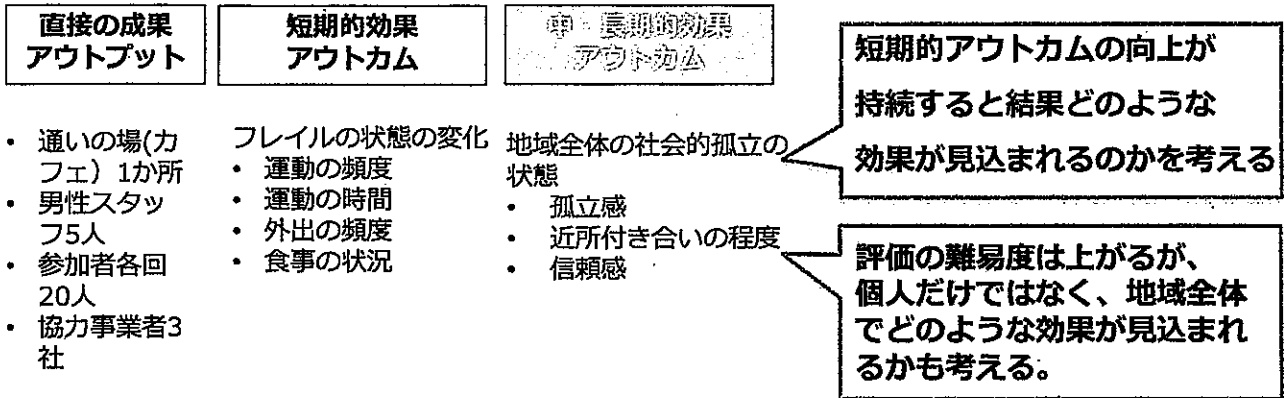
どのように評価するのも意識しながら項目をあげる。

# ロジックモデルの構成：中長期的効果(アウトカム)

- 短期的効果(アウトカム)とは、実施する活動や事業の直接の成果によってもたらされる効果(ある状態の変化、健康度、ソーシャルキャピタルなど)
- 中長期的効果(アウトカム)とは、活動や事業が継続されたり、新たな活動や事業が生まれることによって期待される将来の効果



目的の階層化で提示したレベル4の目的を記載する。



81

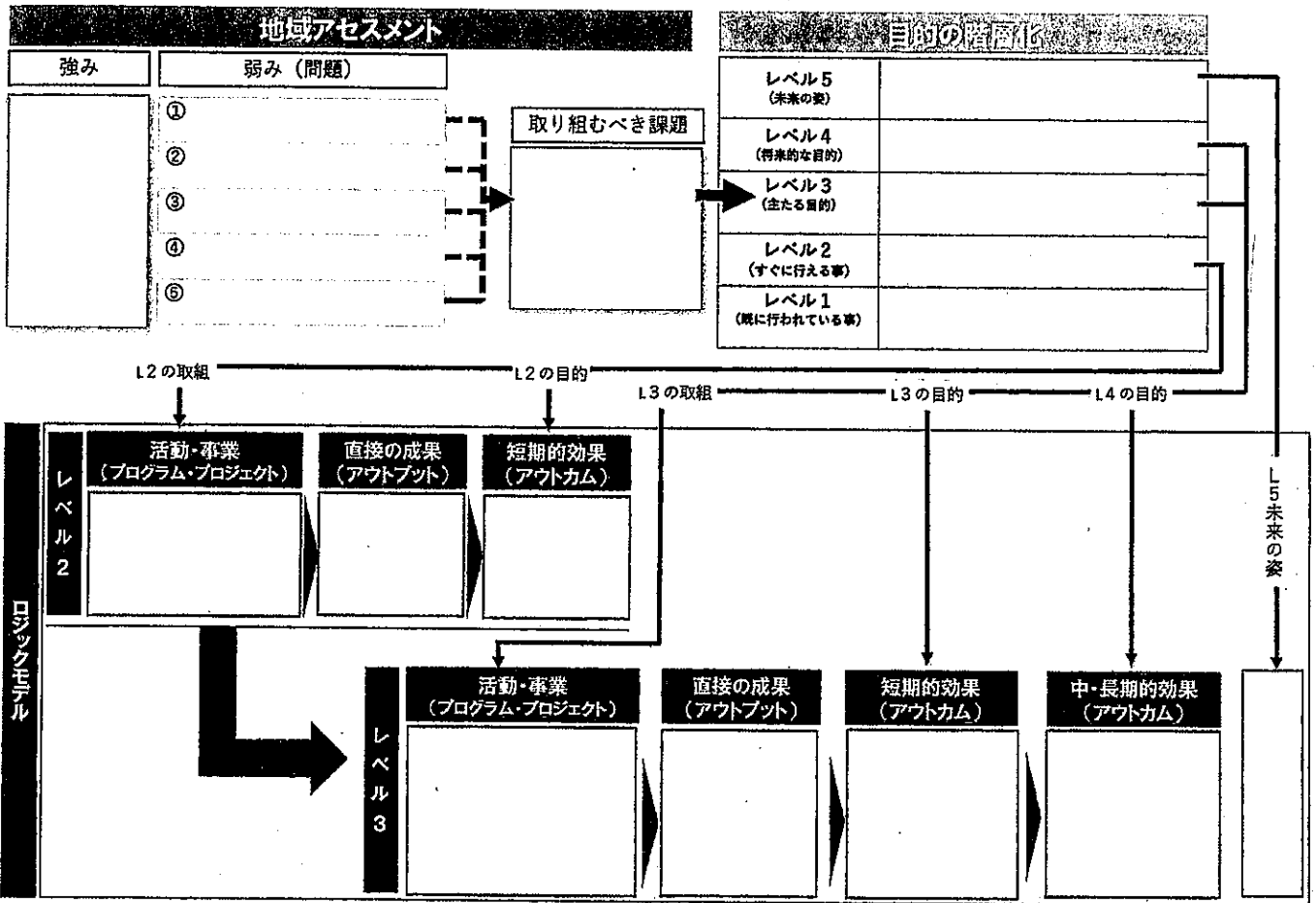
## 気を付けていただきたいポイント

1. 取組むべき課題は明確か、絞りこめているか？
2. 取組(事業)は、課題の解決に対して適切か？
3. 取組が、目的の階層の上下に記述されたものがロジックモデルで並記されていませんか？
4. 取組みから生まれる成果(アウトプット)に漏れはないか？
5. アウトプットによって短期的効果(アウトカム)が見込まれるか？
6. 評価すべきアウトカムの項目、方法は明確ですか？
7. 短期的なアウトカムによって、中長期アウトカムが十分期待されると思いますか？

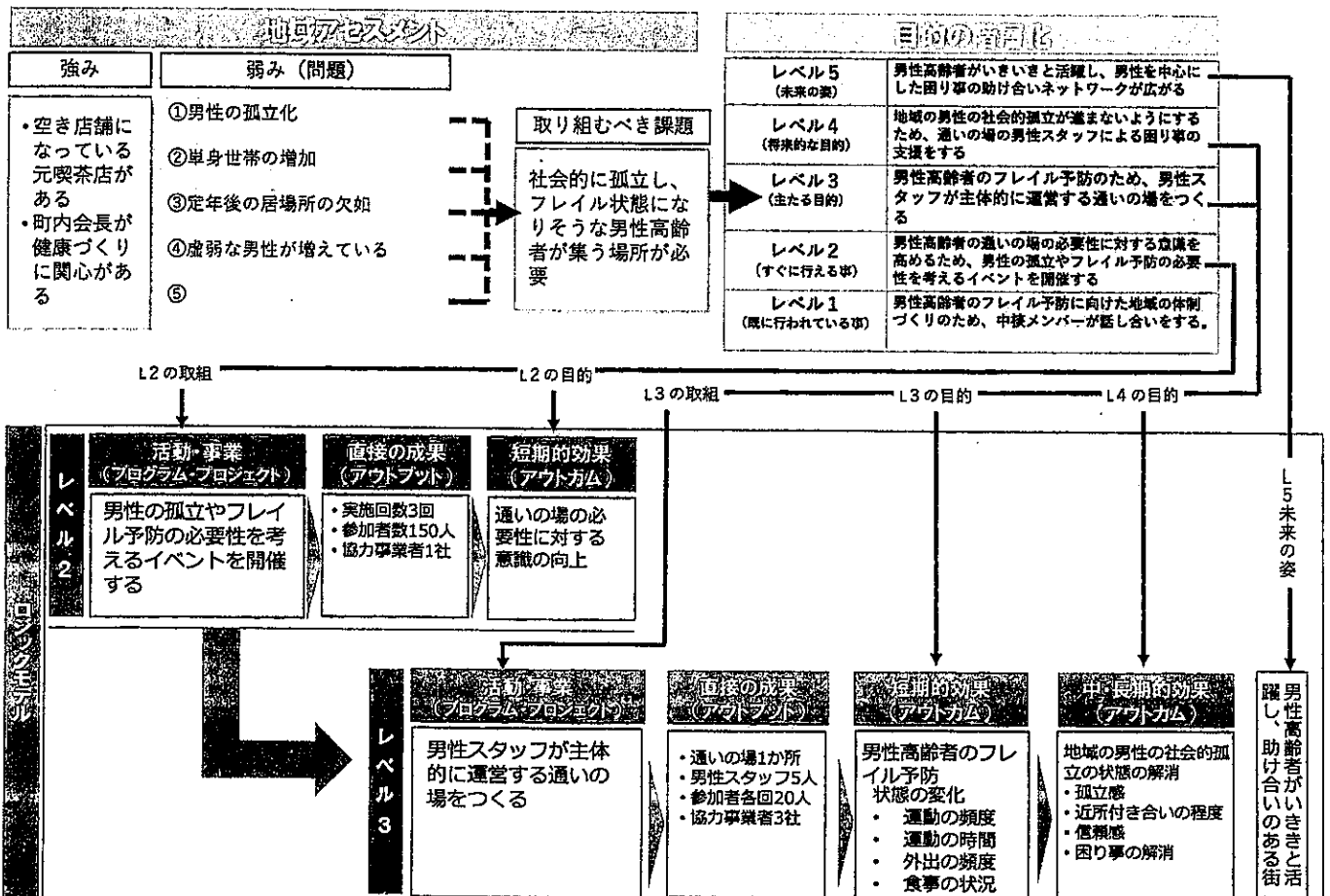
82

# 戦略シート

氏名



# 戦略シート



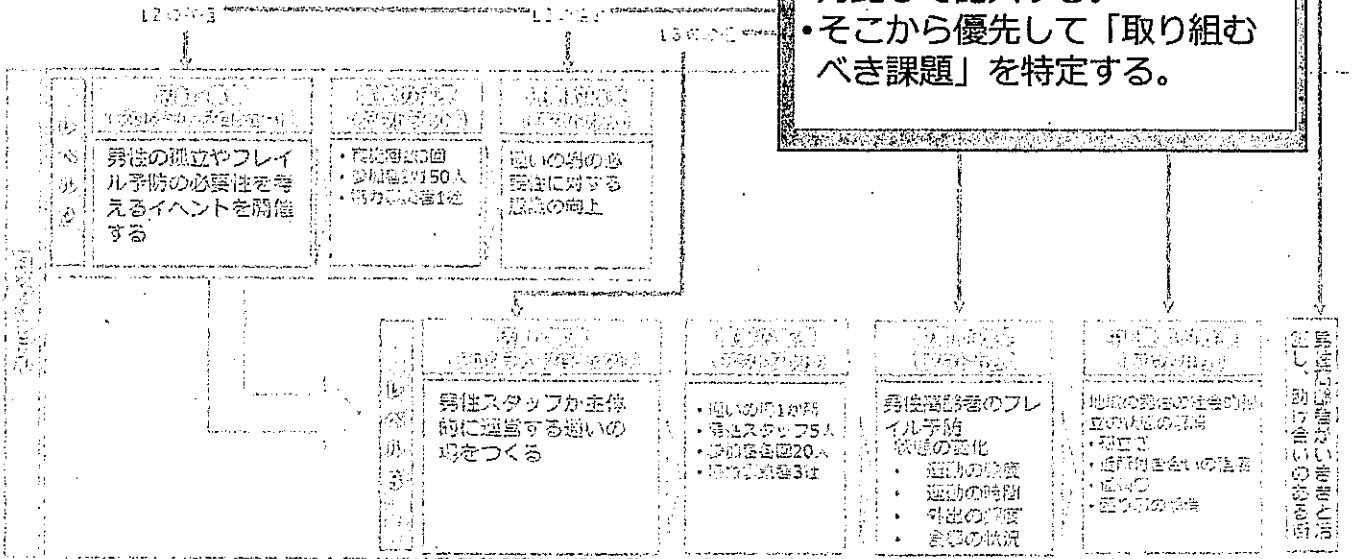
強み	弱み (問題)
<ul style="list-style-type: none"> <li>空き店舗になっている元喫茶店がある</li> <li>町内会長が健康づくりに関心がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①男性の孤立化</li> <li>②単身世帯の増加</li> <li>③定年後の居場所の欠如</li> <li>④虚弱な男性が増えている</li> <li>⑤</li> </ul>

**取り組むべき課題**  
社会的に孤立し、フレイル状態になりそうな男性高齢者が集う場所が必要

### 地域アセスメント

**優先して「取り組むべき課題」の絞り込み**

- 地域アセスメントの結果から、地域の「強み」と「弱み」を対比して記入する。
- そこから優先して「取り組むべき課題」を特定する。



### 目的の階層化

レベル5 (将来の姿)	男性高齢者がいきいきと活躍し、男性を中心にした困り事の助け合いネットワークが広がる
レベル4 (将来的な目的)	地域の男性の社会的孤立が進まないようにするため、通いの場の男性スタッフによる困り事の支援をする
レベル3 (主たる目的)	男性高齢者のフレイル予防のため、男性スタッフが主体的に運営する通いの場をつくる
レベル2 (すぐに行える事)	男性高齢者の通いの場の必要性に対する意識を高めるため、男性の孤立やフレイル予防の必要性を考えるイベントを開催する
レベル1 (既に行われている事)	男性高齢者のフレイル予防に向けた地域の体制づくりのため、中核メンバーが話し合いをする。

### 目的の階層化

**目指すべき地域に至るための目的と事業・活動の明確化**

- 地域アセスメントで特定した課題を解決するために必要な事業・活動を「レベル3 (主たる目的)」として設定する。
- その事業・活動を実現するためにはどんなことが必要で、将来的にはどのような目的を達成できるのかを上下のレベルに記入する。